

福島第一原子力発電所の状況

2016年4月18日
東京電力ホールディングス株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (4/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.5 m ³ /h	16.4	0.43 kPa g	A系： 0.00 vol %
		炉心スプレ系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.8 m ³ /h	21.8	5.34 kPa g	A系： 0.04 vol %
		炉心スプレ系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.03 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	18.8	0.28 kPa g	A系： 0.08 vol %
		炉心スプレ系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.07 vol %

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (4/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	19.2 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	19.3 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	25.1 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	15.3 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

<3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (4/18 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。
2016/3/31 11:20 試験凍結において、ブライン(不凍液)循環設備の健全性の確認等ができたことから、凍結運転(第一段階)を開始。凍結運転は、建屋内滞留水と建屋周辺の地下水位が逆転するリスクを低減するため、三段階に分けて実施する計画であり、第一段階では、1～4号機の海側全面と山側の一部を凍結することで進めて行く。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2016/4/14 21:45 に多核種除去設備において、漏えい検知器が動作し「吸着塔 6B 入口 pH 計ラック漏えい/異常」警報が発生。当社社員による現場確認において、多核種除去設備B系統の吸着塔付近に約 20cm×10cm×1mm の水溜まりが2箇所あることを確認。水溜まりは堰内に収まっており、外部への流出はなく、水溜まり周辺に継続的な流入がないことを確認。同日 23:16 に水溜まりの拭き取りを実施し、警報がクリアしたことを確認。なお、拭き取ったウエスの線量当量率の測定結果については、以下のとおり。
<拭き取ったウエスの線量当量率>
・70 μm 線量当量率(ベータ線)： 0.6mSv/h

・1cm線量当量率(ガンマ線) :0.003mSv/h

<雰囲気線量当量率>

・70μm線量当量率(ベータ線) :0.005mSv/h

・1cm線量当量率(ガンマ線) :0.003mSv/h

4/15 現場を詳細に確認したところ、当該設備の吸着塔6B入口pH計ラック内に設置されている3台のpH計検出器のホルダーねじ込み部に僅かなにじみがあることを確認。このため、当該検出器を取り外しOリング(ゴム製のパッキン)等について確認したが、異常なし。その後、当該検出器を復旧し運転圧による漏えい確認を実施し、にじみ等の異常がないことを確認。

・2016/4/18 10:20頃 1号機原子炉建屋北西において、1号機原子炉建屋カバー解体工事に使用しているクローラークレーンの旋回部より作動油が滴下していることを、協力企業作業員が発見。現場確認の結果、滴下した油は、敷鉄板上に約5m×10mの範囲で広がっており、13:45 吸着マットによる回収作業が完了。また、クローラークレーン旋回部の作動油ホースが損傷しており、当該ホースからの滴下が継続していることから、漏えい拡大防止のため、オイルパンによる受けを設置。11:59 油の滴下が停止したことを確認。12:13 双葉消防本部より「その他漏えい事象」と判断された。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。

7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。

7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。

・サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクEの分析結果[4/10採取]が運用目標値を満足していることを確認したことから、4/16 9:55～15:27 に港湾内への排水を実施。排水量は802m³。

・サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクFの分析結果[4/12採取]が運用目標値を満足していることを確認したことから、4/18 9:59～16:23 に港湾内への排水を実施。排水量は931m³。

【地下水バイパスの状況】

・地下水バイパス揚水井No.1～12のサンプリングを継続実施中。

・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日4/6]については、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、4/19 海洋への排水を実施予定。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エアータンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エアータンク周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

・3/1 に採取した地下貯水槽No.1周辺の観測孔A11～17の地下水を分析した結果、前回値(2/2採取)の全ベータ放射能がND(ND値22Bq/L)であったのに対し、最大で200Bq/Lに上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

<最新のサンプリング実績>

- 4/15,16,17 採取した地下貯水槽 i ~ iii 観測孔の水の全ベータ放射能分析結果は、前回値と比較して有意な変動は確認されていない。
- 地下貯水槽 i (漏えい検知孔水) 南西側の全ベータ放射能が上昇した件について、4/15,16,17 採取した水の全ベータ放射能分析結果は、前回値と比較して有意な変動は確認されていない。
- 4/14 に採取した地下貯水槽 i (漏えい検知孔水) 北東側の水の全ベータ放射能分析結果は、4/13 の値 230,000Bq/L に対し、280,000Bq/L と過去の変動範囲内であるものの上昇していることを確認。その後、4/15,16,17 採取した全ベータ分析結果は、優位な変動は確認されていない。
- その他の分析結果については、前回値と比較して有意な変動は確認されていない。

以上